

# 未来の横須賀のため責任ある政策提言する公明党市議団！！

## 9月議会に一般質問に立つ新人議員

### 介護ボランティアポイント制度の導入を提案！

関沢敏行議員は9月21日の本会議で、介護ボランティアポイント制度導入について質問しました。吉田市長は、ボランティア活動が市や市民にとって「良い事」としつつも市民協働審議会の答申を待って結論を出すとなりました。また、子どもたちの読書と学力の関係性についての質問に対し、教育長は読書と学力の相関関係を認め、学校図書館への司書教諭の専属配置やボランティアの拡充など、整備充実については検討すると答弁しました。



### 行政にリスクマネジメント(危機管理)の視点を！

9月に開会された第3回市議会定例会における一般質問で、石山満議員はリスクマネジメントの視点から中学生の不登校問題を取り上げました。不登校生徒の復帰改善率が2009年度に下がった事実を挙げ、不登校生徒が多い学校では養護教諭らが生徒に時間を割けない傾向にあると指摘し、市長の見解を求めました。吉田雄人市長は、「本市における喫緊の課題である。さらなる対策と状況改善を進めていきたい」と答弁しました。



## 24年度予算要望書を吉田市長に提出

公明党市議団は9月21日、平成24年度の予算要望書を市長に提出しました。重点7分野を柱とし、効率的な行政の確立に向けた第3セクターの在り方や、医療・介護の人材不足を解消し、福祉の充実、また、子どもの読書活動の推進を柱に子育て・教育環境の改善、さらに地震・津波や原子力災害に備えた安全・安心のまちづくりに向けた取り組み、地域経済の活性化については農工商連携による6次産業化の推進など357項目の実現を求めました。



## “ハマちゃんバス”

**待望の試験運行開始！**  
丘陵地が多く交通不便地の多いことが特徴の市内で、9月12日から16日までの5日間、市民や高齢者等の移動の確保を目的としたコミュニティバス「ハマちゃんバス」が市内追浜地区で試験運行を実施。高台の団地を起点に低地にあるショッピングセンターや病院までの2つのルートを利用された方々からは一日も早い実現を望む多くの声寄せられました。



## 問題の先送りは許さない！

**土地開発公社問題で集中審議**  
平成22年度決算で約21億円余の含み損を抱え、実質的に債務超過となっている横須賀市の土地開発公社。「これ以上問題を先送りせず、早期に解散を含めた今後のあり方を検討すべきだ。」との公明党市議団の提案を受け、専門家による第三者委員会（経営検討委員会）を設置。解散する場合は、議決案件となる重要課題であるだけに、議会側も総務常任委員会で集中審議を開始。廃止する場合の財源の手当や解散の手順などについて、12月議会にて提案できるように本格的な議論を始めました。



先行取得し放置されたままの公有地

## 「自治基本条例」について

市議会は9月9日に「自治基本条例検討特別委員会」を開き議論をスタートしました。公明党は、これに先立ち「自治基本条例」の中で特に注目されている「住民投票制度」の先行事例として岩国市を訪問し、その課題について調査しました。  
住民投票制度の問題点としては、①市民への情報の提供の仕方、投票結果が左右される ②行政への強制力が無く、その上高額な費用がかかる ③国の専権事項（基地問題等）は馴染まない等でしたが、今後もこのあり方については引き続き議論をおこなってまいります。



岩国市を訪問する市議団

## 防災体制等特別委員会より中間報告まとまる！

東日本大震災から8か月。被災地の復興が急がれる一方、従来の防災計画の見直しも課題となっていますが、横須賀市では、市議会に特別委員会を設置し活発な議論を進めています。9月議会において、防災情報の迅速で正確な伝達方法のあり方や避難所の運営に関しては備蓄用資材や仮設トイレなど偏りのない配置をするよう中間報告がされました。



9.11 全市一斉津波避難訓練の様子